

# サムライクラウド部会報告

ニッポンクラウドワーキンググループ  
サムライクラウド部会

部会長 野元 恒志

# 「CBAxNCWG 認証連携 Meet-up 2015 夏」実施報告



- SAMLの基本的な講演
- 各社SAMLのソリューションの紹介
- 野元からは、OSSでのSAML対応の実際とアプリでSAMLを利用する際に関する講演を行いました。
- 次頁から軽く講演内容を紹介します。

SP対応って大変！？

恐れる必要はありません。

対応方法は大きく2つ

- ・ SAMLを話せる様に開発
- ・ もうひとつは。。。

Apache、Shibboleth SPでいいじゃん！！

## Shibboleth SPのメリット

- SAMLの応答を実装する必要はない

ライブラリ（simpleSAMLphpなど）結構大変

- セキュリティ維持も容易

ディレクトリ配下をまるまる対象にすることで、アプリケーション自体の保護にもつながり、Shibboleth SPのアップデートも単独で可能。

じゃあ、SP側でやるべきこととは何？

- ユーザーが存在しない場合の処理を追加  
→ID連携をして取り込むのか、自動でユーザーを作成するのか
- SAMLの認証があることを前提に、  
属性値を処理できるプログラムを書く  
→属性により権限の処理などを行う

これだけ！！

## 今回、LimeSurveyでやったこと

- ユーザーが存在しない場合の処理を追加  
→自動でユーザーを作成（管理者、アンケート回答者）
- SAMLの認証があることを前提に、  
属性値を処理できるプログラムを書く  
→属性により、管理者ログイン可能なユーザーの絞込

## 今回、SAML対応で解決した顧客ニーズ

- 1000人規模での社内アンケートリスト管理
- リマインド管理の自動化  
→リマインドメールの自動化
- 部署属性利用により部署内管理と  
エスカレーションの省力化



# 2015年度連携部会方針

- SAMLの啓蒙活動の強化  
→年に数回のワークショップの開催
- CloudApplicationDesktop  
→Chrome As a Service
- API研究
- SAMLビジネスでの実践



# Next

- Cloud Application Desktop 具体化にあたっての検討
- SAMLワークショップ第一弾7/15六本木ヒルズにて  
実施の反省会
- セキュリティや一般WebサービスのAPIのセキュアな  
作り方指針

次回開催 7/29 水曜日 15:00 JPタワー